

## 令和5年度 第3回図書館協議会 会議録

- 日時 令和5年12月21日(木) 15:30~16:20
- 会場 恵庭市立図書館本館 会議室
- 出席者 委員  
会長ほか3名  
事務局  
教育部長、教育部次長、  
読書推進課長、読書推進担当主査、  
学校図書館・施設計画担当主査  
図書館長(指定管理者)
- 傍聴者 なし

### <次 第>

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 教育部挨拶
4. 議 題 (1) 協議事項  
第2期恵庭市読書活動推進計画について
5. そ の 他
6. 情報交換
7. 閉 会

### ◆質疑

#### ○協議事項 第2期恵庭市読書活動推進計画について

A 委員 館長から補足等あるか。

事務局 これからの図書館をどのように考えていったらよいのかは、なかなか難しいところ。まず、今あるものを使った取組みをしっかりと行っていくことが大切と考える。

A 委員 目標指標のうち、「一人当りの蔵書冊数」の目標数値が下方修正されており(4.5冊→4.0冊)、理由として、書架拡張の余地がない等の説明が事務局よりあった。このことについて現況を聞きたい。

事務局 恵庭分館の移転に当たっては書架数が減っている状況。目標の達成には、図書館以外に蔵書を置くことも含め、市民への図書提供方法を考えていく必要がある。

A 委員 改修後の図書館本館はどのくらいの規模になるのか。

- 事務局 人口減等の見込みもあり、全庁で公共施設の面積を改修後も増やさないと流れてきている。その中で、60年ある図書館の耐用年数について、どのような改修により機能維持していくのか、様々な意見等を集約していくこととなる。床面積に入らないのであれば、公園側にオープンテラスを設置する等の考えも出てくるのではないかと。
- B 委員 外国人へのサービスは在住者を想定しているのか。現在も外国人の利用はあるか。
- 事務局 主に在住者についてであり、情報提供等で図書館がその手助けになればと考えている。日本語がわからなくても写真の多い雑誌を楽しむ等、図書館の楽しみ方を提案していき、その中から現在外国語図書充実へのニーズが生じるのであれば、蔵書の幅を広げていくことも考えられる。
- 事務局 現在もカウンターに外国人が利用者登録を求めて訪れており、図書館利用へのニーズが確認できる。
- B 委員 学校図書館活動推進協議会による研修・事業はどのようなものか。
- 事務局 学校司書及び司書教諭を対象に、合同研修会を年2回、学校司書単独の研修会を年2回行っている。また、図書館振興財団で行われている研修の参加費及び旅費を協議会で負担している。
- B 委員 学校司書と司書教諭をどう動かしていくかは次期計画の内容として大事なこと。司書教諭にもっと授業に関わってもらわないと宝の持ち腐れになるのでは。
- 事務局 活用を勧めることについては校長会等を通して行っていくこととなる。次年度は、新聞を使った取組みを司書教諭等と行い、各校に提案していくことも考えている。
- B 委員 学校図書館が教科に関わっていくことをより充実させていかないと仕組みが生きないのでは。
- C 委員 学校側からの意見となるが、学校図書館を授業で活用する場面は限られている。授業は学年毎の指導計画によるものであり、その中で個々の教諭の裁量により学校図書館を利用することもあるが、校長から「やってくれ」と言えるものではない。現在、校外学習や国語・社会等の授業で利用しているが、教員が充足していない学校も多く現場は逼迫しており、要望があったとしても対応は難しいと考える。
- B 委員 個々の教諭に動いてほしいと言っているのではない。学校司書からは教科への情報発信ができないと考えるが、ならば司書教諭に学校図書館の活用方法を周知してもらうことが重要ではないかということである。
- 事務局 現状として、学校司書は司書教諭としっかりコミュニケーションを取っている。授業での活用

方法についても、これまでのノウハウを司書教諭に伝えている。

A 委員      コミュニケーションの内容・質は学校によるもので、場合によっては学校司書に「おんぶにだっこ」になることもある。学校司書が学校側に活用方法を伝える場を設けるとよいのではないか。

C 委員      自校の学校司書は新任なので、できるだけコミュニケーションを取るようになっている。

A 委員      学校司書が集まるミーティングも定期的にあるので、どのような方法があるのか伝える場を持ってよいのではないか。調べ学習も学校司書の存在が肝要。各校で温度差もあるだろうが、やはりコミュニケーションが重要となるだろう。

A 委員      変更に関する意見はなかったので、計画案はこのままでお願いしたい。（事務局了承）

～閉会